

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	COVID-19前後のてんかん外科手術患者の心理状態
研究責任者	代表;てんかんセンター 藤本礼尚 分担研究者;てんかんセンター 榎 日出夫
研究実施体制	統計解析およびデータ収集(藤本、榎)
研究期間	臨床研究審査委員会承認日～2021年12月
対象者	2019年2月から2021年5月までに当院で開頭手術を受けた症例
研究の意義・目的	てんかん外科手術を受ける、という事は患者サイドにとって大きなモチベーションを必要とします。現在のコロナ禍により鬱症状を含めた精神的不安定は多く発表されており、てんかん患者の孤独などは知られています。その中でも果敢にも手術に挑む患者心理にはコロナ前後で差があると仮定し、コロナ前とコロナ禍のうつスケールを比較します。
研究の方法	【選択基準】当院で上記期間中開頭術を受けた症例の中で 1. 18歳以上(うつ尺度テストの対象が18歳以上だから) 2. うつ尺度テストを行いうる症例 【除外基準】1. 18歳未満 2. うつ症状なのか高次脳機能障害による症状なのかの鑑別困難症例を除外とした。 【予定症例数】各群10例合計20例 【症例数の設定根拠】2019年2月から2021年5月に至る症例中上記条件に合うもの
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 てんかんセンター (氏名) 藤本礼尚 TEL:053-474-2222(代表) てんかんセンター外来 9:00～17:00 平日